

入居企業紹介 その198

SICに入居されている企業様をご紹介します。

世界中が喜ぶ“通信の民主化”の
一翼を担う企業として！

【入居者プロフィール】

株式会社Puerto(プエルト)
代表取締役 本田 寿明(ほんだ としあき)

本田さんは相模原市緑区三ケ木出身で、幼いころは自然に囲まれた環境で川遊びに夢中になっていたとのこと。小学校・中学校では野球を、高校ではバスケット部に所属し、現在でもジョギングやジムで体を動かすことを怠らず、また、仕事でも必要な英語の勉強も続けています。2020年に名古屋工業大学大学院の社会工学専攻に進み、現在は博士後期課程で学位取得のための論文作成も行いながら事業に取り組んでいます。

【創業・入居の経緯】

社会人となってから大手搬送メーカーのシステム開発に携わりました。FAや産業プラントでは装置や機器がネットワーク化され、それぞれの制御や管理が一元化され、IoTの進展により制御や管理技術革新が進む一方、セキュリティに関する課題が顕在化していました。本田さんもどのようにしてセキュリティを高めるかに腐心していた時、OPC UA※を知りました。難しい規格ではあるものの、インダストリー4.0といった、一企業内にとどまらず、製造業同士がネットワークでつながり、生産活動の合理化が叫ばれる中で、OPC UAは今後、すべての製造業に必要となると考え、その普及のために自身が創業することを決意しました。社名の由来はスペイン語のpuerto(港)で、独自の技術で世界に光を照らす会社を目指すという思いが込められています。2015年にDesk10で事業を開始、その後、町田市内に拠点を移し、さらなる事業拡大を目指してStartup Lab.のセミラボに入居しました。

※OPC UA(OPC Unified Architecture)：産業オートメーションなどの業界で、安全で信頼性あるデータ交換を行うために策定されたオープンな国際標準規格で、OPC Foundationが2008年に発表、その後IEC62541として国際標準化された。

【事業内容】

Puerto社の主な事業内容は、世界的に導入が始まっているOPC UAに準拠した不正コマンドの監視システムの開発と、製造業などを対象としたセキュリティ全般におけるコンサルティングです。近年のサイバー攻撃ではPCを乗っ取り、正規ユーザになりすまして不正コマンドを送信し、稼働中のシステムを制御不能な状態にすることなども発生しています。OPC UAはすでに大手メーカーなどが導入を進めていく中、運用面では高度な技術、知見が要求され、欧米では先行して実装されていますが、日本は独自規格を推し進めていたこともあってこれから採用していく企業も少なくありません。そのような状況の中、Puerto社では名古屋工業大学やIPA(独立行政法人 情報処理推進機構)の産業サイバーセキュリティセンターとも連携しながら、日常の生産活動をサイバー攻撃から守るための研究開発を進めています。



模擬プラント

【これからの目標】

世界中のデータが安全に守られる“通信の民主化”を実現するため、Puerto社は邁進していきます。本田さんは産業オートメーションの安全で信頼性ある相互接続を実現するグローバル組織であるOPC Foundationの複数のワーキンググループに参画しながら、標準規格の作成や製品認証にも協力しています。また、OPC UAに関するワークショップやセミナーの講師も務めていて、今後は現場で活用できる教育プログラムのビジネス化にも取り組んでいきます。

株式会社Puerto

SIC-1 Startup Lab. 1206号室

URL <https://ipuerto.co.jp/>

※ホームページ内にお問い合わせフォームがあります。

PUERTO

入居企業トピックス

9月の新聞掲載記事紹介(9月27日時点)

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。

ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。
また紙面に掲載された場合、スタッフに教えていただけると幸いです。

- 9月12日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞
—「社長の知的財産」の承継—
- 9月21日 Ronk株式会社 相模経済新聞
—9社の10製品を認定—
- 9月23日 株式会社ラクロー 神奈川新聞
—ビジネスウエーブ打刻レス勤怠管理サービス「ラクロー」—

経営力アップセミナー

インボイス制度・電帳法改正への
対応はお済みですか？

ここから始める中小企業のデジタル化 !!

令和5年10月に導入される「インボイス制度」や令和4年1月より開始されている「電子帳簿保存法改正」の対応はお済みですか？

本セミナーでは、デジタル化の必要性や考え方・メリット、制度の概要や留意点を解説し、具体的なデジタルツールのご紹介をいたします。

【日 時】 令和4年11月2日(水) 16:00~17:40

お申込みはこちら

【会 場】 オンライン(Zoomウェビナー)

【参加費】 無料(定員100名)



スケジュール

第1部

中小企業におけるデジタル化の考え方や取組み方について

16:05~16:30

【講演内容】 ・デジタル化への必要性やメリットを具体的に解説
・デジタル化の事例紹介
・デジタル化推進に活用できる補助金紹介

【講師】 TITC合同会社 代表社員 富田 良治氏
(中小企業診断士、ITストラテジスト、PMP)

第2部

インボイス制度・電帳法改正の概要及び税制変更点の解説

16:30~17:15

【講演内容】 ・制度概要や改正のポイント、留意点について
分かり易く解説

【講師】 辻・本郷税理士法人 DX推進室/税理士
辻・本郷ITコンサルティング株式会社
取締役 菊池 典明氏

第3部

インボイス制度・電帳法改正に対応したデジタル化ツールについて

17:15~17:40

【講演内容】 ・対応するデジタル化推進ツールの紹介

【講師】 株式会社ラクス 楽楽販売事業部プロモーション課
パートナーセールスリーダー 今橋 貴広氏

編集後記

今回取材した本田さんは日本で唯一のOPC UAエキスパート保持者になります。最近では模擬プラントのセキュリティについて教えるため、MixedReality(複合現実)と呼ばれる、動作が現実と仮想に反映される装置を使うそうです。万が一、大規模な事故に繋がりがかねない施設は、盤石なセキュリティに支えられていると感じます。(佐藤)



SIC空室情報 (令和4年10月1日 現在)

※お気軽に大谷・稲垣までお問合せください

部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-2 Creation Lab. ○オフィス(50.2㎡)	1	189,970円

最新の情報はHPをご確認ください。



The HINT56 SICミニセミナー

共同開発を成功に導く !!

押さえておきたい“共同開発契約”のポイント

中小・ベンチャー企業は他社や大学と“共同開発”を進めることで、技術の相互補完や開発期間の短縮、開発コストの合理化を図れます。一方で双方の役割や成果物の定義、権利をあやふやにしたまま行くと、開発や事業の失速はもとより良好なパートナーシップに影を落とすことにもなりかねません。

今回の The HINT56 では技術法務分野での実績をもつ高瀬弁護士をお招きし、円滑な共同開発のための契約について考えます。

【日 時】 令和4年10月5日(水) 15:00~16:30

お申込みはこちら

【会 場】 オンライン開催(Zoom)

【参加費】 無料(定員30名)

【担 当】 樽川(内線:2023)



全館停電のお知らせ

建物電気設備(キュービクル)の法定年次点検実施に伴い、停電を予定しています。

SIC-1、SIC-2 令和4年 11月 12日(土)

点検作業日は土曜日になります。前日までに各部屋の電源、サーバー等の電源への停電対応をお願いします。

詳細については後日ご案内します。

※SIC-3の点検日については、改めてご連絡します。

